

「広めたい」障がいに対する正しい理解

た こう り さ ち ば か ず き
竹生 梨紗 さん・千葉 一輝 さん

(北海道介護福祉学校2年)

町民との交流をきっかけに福祉への関心を広げる取り組みを行う「地域活動研究・地域問題解決グループ」として活動する二人。「障がいに対する偏見・差別を減らすことを目標に活動しています」と話す竹生さん。

角田小学校で行われたPTA行事に参加し、障がいの有無に関わらず競い合えるスポーツ「ボッチャ」を通して親子と交流したほか、オープンキャンパスの一環として栗山町身体障害者福祉協会と連携したハロウィンイベントを行いました。活動を通して千葉さんは「障がいを持つ方や保護者の声を聞くことができて、達成感や新たな学びを得るいい機会でした」と振り返りました。

2月に開催予定の報告会では「介護のやりがいや魅力、障がいに對する正しい理解を広めたい」と二人は意気込んでいました。



竹生さん（左）と千葉さん（右）



10月に開催されたハロウィンイベント



白熱した試合！

栗山高校球技大会が行われました

栗山高校で冬の一大行事「球技大会」が12月22日、スポーツセンターで行われました。3年生が引退し、新体制となった生徒会を中心に企画や当日の運営を担当。生徒会長の田上陽花さんは「怪我をしないように全力で楽しんでください」とあいさつしました。

種目はクラス対抗ミニバレーボール。男子9チーム、女子15チームが予選と決勝トーナメントを行い、男子は3年2組、女子は2年1組が優勝しました。各チームの順位点で決まる総合優勝は、チームワークの良さを発揮した3年2組。

会場では白熱した試合が、終始繰り広げられ、盛り上がりを見せていました。

田上さんは「全生徒が楽しめる企画を考えるのが大変でしたが、思い出に残る行事にできて良かったです」と話していました。

